

2がっのくもの子の会だよ

〈H.27.1.30〉

年があけたと鬼がこらもう2月になりま。あつひひ月いこら。春がや、てきまわ。

2月、また、急激なひこみや寒さがあるかと思ひま。くもの子の会では、リズムで身体を動かし、寒い冬の冷気をのりこましよう。



〜人生を楽しむための感性の伸ばし方

〈豊かな五感をほくお一番の教材は、自然での経験〉

人生を楽しむための、面白いもの、素敵なことを見つけろ力

「これは面白い!!」「ああ、美しいな」

感性が豊かな人は見ると世界が豊かでしょう。

感性がいいと笑うもつこさんの人と共有でき、深い話たててお。

そして人がつこさん寄ってきます。

1日1日が豊かなおです。

感性が鈍いと、見るとへの感動が少なくてお。

感動がなければ、何を話しても面白さを伝えられま。

笑も共有できな、興味関心も浅いため、深い話が

できなてお。

人生を面白く生きるには、感性を育ておくことが非常に大事になってくるお。

では、どうして感性は育ていくおでしょうか。



五感^①は自然の中で磨かれる

自然には子どもたちの感性を引き出す不思議な力があります。

例えば、捕った魚をさばく場面。魚の目のあたりにつく、しずくを見て、

「魚が泣いているように見える」

とつぶやく子がいます。

自分で捕った魚をさばく実体験をする中で命の尊さ、偉大さを感じたおでしょう。

また、同じしずくでも、葉っぱの上にあるものを見て、「宝石みたい」

とつぶやく子もいます。

それは、自然の美しさのものを感じてそこから出てきた言葉お。

自然の中は都会と比べ、五感を使う幅が大きいお。

道はぼこぼこで草がつかさん生えていて、その中をなんとかが歩いていく様子は、まさにトトロの世界。

川の中は、石や葉っぱや石でゴチャゴチャだけれど、その中でお宝物探しかまた面白い。

水だけじゃなくて、空気も澄んでいて、季節ごとの匂いを感ずることができお。

夕焼けは、左倒されるほの美しさ。テレビで自然の夕焼けを見て、「きれいだな」と思うのはわけが違お。せむ、機会をつかって、自然で過ごす経験をつかさんさせてあげましよう。(「Xが食える大人」に育つ子どもの習慣お)